

医師確保対策事業

地域医療を支える医師確保養成対策事業

1 趣 旨

中山間地域や離島を中心として、医師不足による医療の確保が深刻な問題になっていることから、「島根で働く医師を呼ぶ」、「島根で働く医師を育てる」、「島根で働く医師を助ける」の3つの柱で医師確保対策を推進する。

2 事業の概要

(1) 島根で働く医師を呼ぶ

ア 地域勤務医師確保枠

地域医療に将来携わる医師、専門研修を希望する医師を確保し、県立病院で研修後、地域の医療機関で勤務する。

イ 赤ひげバンク

県外の医師とのネットワークをつくり、地域医療を志す医師を呼ぶ。

ウ 医師面談

各種広報媒体を活用した情報収集により、島根で働く現役の医師を確保する。

(2) 島根で働く医師を育てる

ア 各種奨学金制度の活用

将来、県内の地域医療に携わる意志のある医学生に対して奨学金を貸与する。

・医学生地域医療奨学金（H14～）

・緊急医師確保対策枠奨学金（H21～）

イ 研修医等定着特別対策

・県内の中高生を対象にした「医療現場体験セミナー」や高校2年生を対象にした「夢実現進学チャレンジセミナー」を開催し、医師を目指す学生を増やす。

(3) 島根で働く医師を助ける

ア 地域医療支援ブロック制

診療所と病院の医師が交代で勤務し、1人の医師に掛かる負担の軽減を図る。

イ 代診医の派遣

診療所で働く医師が学会や研修会に参加できるよう、代診医を派遣する。

ウ 女性医師就業支援

女性医師の割合が増加している中、女性医師の定着を推進するため、意見交換会等を開催し、県内ネットワークの構築など支援の基盤づくりを進める。

エ しまね地域医療の会

地域医療に従事する医師が相互に意見交換する場として年2回開催。

オ 救急医療体制支援

・救急業務に従事する医師に救急業務手当を支給する医療機関に対し、その一部を助成。

・診療所医師の夜間・休日の診療を支援。

カ 周産期医療体制構築

・分娩業務従事手当を支給する医療機関に対し、その一部を助成。

・離島・中山間地に所在する分娩数の少ない医療機関に対し、産科の運営費を助成。

・若手産科医師に研修手当を支給する医療機関に対し、その一部を助成。

・新生児医療担当の医師の処遇改善を行う医療機関への支援。

・助産師が医師と協働し妊婦健診や正常産の分娩を自ら行うことができるための研修を実施。

・若手医師の医療技術のスキルアップと県内医師のネットワーク強化を図るため、ベテラン医師と若手医師の合同研修会を開催。

キ へき地診療所等医師確保支援

・へき地診療所医師に対する交通費補助。

3 平成24年度予算額

425,712千円

325千円

(担当課 医療政策課)

(担当課 健康推進課)

地域医療再生計画事業（医師確保対策）

1 趣旨

従来に取り組みに加え、島根県地域医療再生計画に基づき、医師不足が深刻な地域における医師確保対策を強力に実施。

2 事業の概要

(1) 現役の医師を『呼ぶ』対策

ア 地域医療に携わる医師を養成するために大学の研修環境や指導體制の整備等を支援

イ 研修医を確保するため医学生向け研修病院説明会（東京、大阪）への参加

(2) 地域医療を担う医師を『育てる』対策

ア 島根大学医学部へ設けた寄附講座による医学生等への支援

イ 医学生向け奨学金による地域医療の担い手育成支援

（島根大学医学部定員増分、鳥取大学医学部定員増に伴う島根県枠、不足診療科枠）

ウ 初期・後期研修医向けの研修資金貸付制度により、県内定着を促進

エ 後期研修医の国内外留学を支援

オ 専門医・指導医の資格取得経費を支援

カ しまね地域医療支援センターの整備・運営

(3) 地域勤務医を『助ける』対策

ア 地域医療機関に赴任した医師に研修資金を支援

イ 医師事務作業補助者の雇用に対する支援

ウ 地域住民が主体となった地域医療を守る取組を支援

エ 地域医療機関に勤務する非常勤医師の交通費を支援

オ 医師看護職員等宿舍整備を支援

カ 小中学生を対象にふるさと教育での「地域医療」に対する取組を支援

3 平成24年度予算

1,300,396千円

（担当課 医療政策課）